

26 ぎたい こんちゅう るい ふ し ぎ 擬態する昆虫ナナフシ類の不思議：

あずみのしない だいはっせいちゅう ～安曇野市内で大発生中の

せいたいてんじ ナナフシモドキの生態展示～

2017年、あづみのしあかしなちく だいはっせい はじ
安曇野市明科地区でナナフシモドキが大発生しました。ナナフシモドキを始めとするナ

るい にほんこくない ぜんれい めずら げんしょう あたた ちいき
ナフシ類の大発生は日本国内からは前例のない、とても珍しい現象です。そもそも暖かい地域に

できおう しんしゅう
適応したナナフシ類は、信州では珍しい昆虫です。

ななふし かんじひょうき ほそなが たいけい くわ ほきやく ぜんご
「竹節虫」と漢字表記されることもあるナナフシ類は、細長い体型に加えて、歩脚を前後に長く

の せいし おお き えだ ぎたい かんが かぜ
延ばすようにして静止していることが多く、木の枝に擬態していると考えられています。また、風

ゆ さま さいげん からだ こうどう かんさつ
に木の枝がゆらゆらと揺れる様を再現するかのよう、体をゆっくりと揺らすような行動も観察

されます。また、安曇野市内で大発生しているナナフシモドキは、ほとんどがメスで、たんいせいしよく
単為生殖を

していると考えられています(オスと

こうび ひつよう はんしよくようしき
の交尾を必要としない繁殖様式を

しんか
進化させています)。

このブースでは、い活きたナナフシモ

ドキをせいたいてんじ生態展示するとともに、2017

年に大発生したナナフシモドキの

はっせいじょうきよう
発生状況や不思議な生態などを

しょうかい
紹介します。

